

令和5年度

# 阿南中学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 個での学びと全体での学びをよさを活かすための、ICT機器の積極的活用による実践。
- 生徒が主体的に伝え合い、学び合う授業実践。

## 学力向上検討委員会構成

<b>学力向上推進員</b>	<b>委員</b>
山田 泰史	校長: 霜田泰徳 教頭: 松葉諸勝 教頭: 森本雅仁 教務・研修主任: 大岩秀樹 各教科主任 各学年主任

校長

霜田 泰徳

### 【各校の取組状況の把握について】

教員相互授業参観やメンター研修を通して、共有や意見交換を行い、次の実践へとつなげる。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能の習得をめざし、意欲的に学習に向かえる生徒が多い。 ●語彙力の向上や知識・技能の定着に課題がある。	・様々な表現方法を習得し、自らの考えや思いをまとめることができる。 ・様々な学習場面や生活の場面で、習得した知識・技能を活用することができる。	・教科書に線を引くなどして、正確に読み取らせる。 ・各教科の授業において、毎授業、または単元(題材)の過程や終末に、自分の言葉でまとめる活動を取り入れる。 ・教科をとわず、教員相互授業参観を行い、フィードバックする。			

### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業での意見交換や話し合い活動に積極的に取り組み、多様な角度からの見方・考え方を深めようとしている。 ●建設的な意見交換や、自らの考えを言葉としてまとめて伝えることに課題がある。	・自分の考えや思考の過程を適切な言葉でまとめ、他者にわかりやすく伝えるよう話したり書いたりしながら、効果的に伝え合うことができる。	・ペア、グループなど、目標と学習内容に沿って効果的な意見交換の活動を取り入れる。 ・生徒の考えを深めさせる発問を行うとともに、話し合い活動を工夫し、互いの意見を取り入れる場面を増やすことでさらに考えを深めさせる。			

### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業に一所懸命取り組むことができる。また、自らの力を伸ばしたいという意思をもち学習に取り組むことができる。 ●わからないことや少し難しいことに対して深く考えたり問い続けたりすることに課題がある。	・わからないことこそ、学んだことを活用しつつ試行錯誤しながら解決に向けて取り組むことができる。 ・自ら力を伸ばすために学習習慣を身につけ、継続することができる。	・生徒に主体的な学びに向かわせるために、「なぜ」の問いを投げかけたり、タブレットを活用しながら共同で課題解決に取り組ませるための学習活動を多く取り入れたりする。 ・自主学習モデルを取り上げ、例示し、真似ることから学びにつなげられるようにする。			

## 令和5年度 学力向上ロードマップ

